

園だより
2025



ArteKodomotoKi

5

社会福祉法人 種の会
幼保連携型認定こども園
アルテ子どもと木幼保園
〒164-0001 中野区中野1-59-5
Tel 03-3365-0602



ホームページ



Instagram

お知らせ

- 欠席のご連絡はChildCareWeb アプリをご利用下さい。その際、“連絡入力”をクリックして記入ください。“電子連絡帳”に記入しないようご注意ください。また、早退の連絡は登園時に連絡簿に記入して頂いておりますので、アプリでの連絡は必要ありません。当日欠席の連絡は朝9時までお願いいたします。
- 5月より2歳～5歳クラスの保育参加を実施します。今年度より、給食の試食を行います。子ども達の食育をより充実させるため、食後にアンケートをお願いしますので是非ご協力をお願い致します。0歳1歳クラスの保育参加は10月中旬～11月となります。
- 9日はシンガーソングライターの荒巻シャクちゃんが来園し、子ども達と手あそびや歌あそびを楽しみます。
- 保護者会詳細はChildCareWeb メールでお知らせした通りです。
- 23日春のピクニックは幼児クラスのみとなります。お弁当をご用意下さい。詳細は後日お知らせ致します。※保護者の参加はありません。
- 6月7日(土)ファミリーデーはクラスごとの開催を予定しています。
(午前中で終了予定)ふれ合い遊びと屋上園庭を使ったワークショップを行います。3歳～5歳クラスは保護者1名のみの参加となります。詳細は後日おしらせ致します。何かございましたら遠慮なく事務所にご相談下さい。
- 園で使用する持ち物や洋服には必ず記名してください。また、洗濯などで薄くなっていないかをご確認下さい。ご協力よろしくお願い致します。

May 5 2025						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1 運動あそび	2	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6	7 0歳児健診	8 発育測定 運動あそび	9 荒巻シャク ちゃんと遊ぼう	10
11 母の日	12 音楽あそび	13 0・3歳児 保護者会	14 1・4歳児 保護者会	15 運動あそび 2・5歳児 保護者会	16	17
18	19 音楽あそび 園児学会 地域(ベビー)	20 避難訓練	21 0歳児健診	22 運動あそび 地域(サーキット)	23 春のピクニック (3・4・5歳) 地域(園庭開放)	24
25	26 音楽あそび	27 誕生会	28	29 運動あそび	30	31

※地域サーキット、園児学相談会、ベビーマッサージ、園庭開放は地域にお住まいのご家族への子育て支援として開催しています。

※今月の園だよりのテーマ:新しいクラスでの様子



新緑をぬける風がさわやかな季節となりました。卒園記念樹のハナミズキが、門の横で愛らしい花を咲かせています。

タ方の日々の終礼で、週末はクラスから子ども達の「キラキラ」を発表してもらい職員で分かち合っています。ご家庭でも、我が子のいい所探しをして、ぜひお子さんに伝えて下さい。愛されるために生まれてきた子ども達。ありのままの自分が「大切な存在」という自己肯定感も育まれていきます。

自慢話は、謙虚さが美徳の日本で敬遠されがちですが、今月開催の保護者会では「ウチの子自慢」で話の花を咲かせたいですね。

園長 山田寿江

心の声を言葉に…

進級して「園のことをよく話してくれるようになりました」と声を掛けて下さった保護者の方がおられてとても嬉しく思いました。朝は、「ママがいい～」と涙顔も見られますが、遊びや先生との関りを通して笑顔も増えてきました。まだ大泣きのお子さんもいて、必ず慣れますよ…と背中を押すものの後ろ髪を引かれる思いで行かれる親心はいかばかりかと察します。「でも、行かないと慣れないですもんね」と、ご自身を鼓舞するようにお子さんを連れて来る方もおられ、親としても忍耐の時なのだと感じました。

卒園児さんとお知り合いの方からは、「今でも園長先生のこと話してます」と教えていただきましたが、「なかなか園長先生に声を掛けられなくて…」と、打ち明けて下さいました。いつも忙しいにしていますから、遠慮もあるのかもしれません。話しかやすい雰囲気をお心掛けていきますので、どんなことでも気軽にどなたでも声を掛けて下さい！心が軽くなりますよ。



ケンカは学びのチャンス

園生活では友達関係も大きく影響します。「〇〇ちゃんがいらないから帰りたい」と心の結びつきの強いお子さんもいます。小さなクラスでも友達と過ごしていく中で、物の取り合いなどでケンカになることもあり、嫌な思いや悲しい気持ちを味わいます。ケンカの仲裁は保育者の役目と考えがちですが、子ども同士で解決できる時もあります。友達と楽しく遊ぶためには、自分の感情や行動をコントロールする力も必要です。「ケンカはダメ」「ごめんなさいは？」と、大人が育ちのチャンスを奪わないようにしたいものです。どんなに小さな子どもでも、自分なりの考えを持っています。相手の話を聴くには、先ず自分の考えを聞いてもらい、受容的に受け止めてもらう経験が必要です。それぞれの声に丁寧に耳を傾け、共感して応答するやりとりを大切にしていきます。

ケガをする権利 ～小さなケガはチャレンジの証～

ドイツのバイエルン州には「子どもはケガをする権利がある」という幼児教育カリキュラムにあります。子どもは、いろいろな遊びを通して難しいことに挑戦します。時に小さなケガを繰り返し、危険への意識を高めて、状況に応じて適応できる力を身につけていきます。大人から見るとハラハラすることもあります。子どもの「したい」気持ちを大事にしながら、危険でない限り見守っていききたいですね。遊びの広がる環境を意図的に提案し、子ども達の力が十分に発揮されるよう励んでいます。

涙をみせながらも……

主幹教諭：中村

新年度が始まり、部屋から毎日元気な泣き声が聞こえています。保育者に抱っこされ少しずつ安心したり、友達に声を掛けられたり遊びに誘われたりしながら、自分のペースでゆっくり園生活に慣れていく様子がみられます。

涙をみせたり「ママがいい」と言ったりする中でも、興味を示した物に手を伸ばしたり「パパやママに作ってみようよ」と声を掛けられ、粘土をこねたりする姿もみられます。安心できる人や環境の中で、少しずつ自分で気持ちを切り替えよとするなど、楽しいと思える事を探しています。

やってみたいという気持ちがあふれた時こそ、大きく成長します。同じ事を何度も行い、また新たな不思議が生まれます。自分が経験する事で満足感や次はどうなるのだろうと、学びたい意欲が出てきます。これから子ども達と、たくさんの経験をしていきたいと思います。一緒に発見したり疑問に思ったりしていると、大人では考えつかないような発見があるかもしれませんね。



友達パワー

主幹教諭：黒木

4歳ナノ組のAさんが、3歳ナノ組に入園したBさんの手を引き、遊びに誘います。初めての集団生活で不安がいっぱいBさん。毎日泣いて登園していますが、Aさんが飛んできて「ほっぺがプニプニで可愛い～」と言いながらお世話してくれます。大人から見るとAさんもほっぺがプニプニなのです。可愛い二人は、お互いに一緒にいると癒されるようです。

誕生会で縄跳びを披露した年長組のEさんが、舞台から降りると急に泣き出しました。すぐに同級生のFさんとJさんが駆け寄り理由を聞いています。「うん、うん、そうなんだ、失敗しちゃったから悲しいんだね。でも下の会で縄跳びした時は成功したよね！だからいいんだよ！」と慰めます。クラスメイトが悲しむ姿をみて心配し、寄り添う姿に胸が熱くなりました。

ボタンホールがきつくて苦戦しているCくんをみて、同級生のDくんがお手伝い。学年が同じでも違っても子ども達はお互いに助け合ったり、支え合ったりしながら小さな社会を作って学び合っていることを感じました。

表紙の絵

ビオラの花と種を観察した3歳ナノ組のみはるさんが描きました。葉っぱの緩やかなカーブを「ここが、ふわふわ」と言いながら描いていました。

AtoO

安心の材料

“抱っこして〜”と声や体全体で主張するSくん。M先生は「どうしたの？〇〇なの？」と声をかけ、Sくんの気持ちや欲求に寄り添い関わります。そのときは眠たかったようで、M先生の抱っこで入眠。その応答的な関わりを続けると、保育者と少し離れても泣くことが減り、1人で手足を動かしたり近くにある玩具を手にとって握ったりして遊ぶようになりました。Aさんは腹ばいで室内を探索します。トンネルに入ったり、テーブルにつかまり立ちしたり、寂しくなると出入口に行ったり……。保護者の方がここに来ると分かっているのでしょうか。「ママが良かったよね、何で遊ぼうか」と声をかけ、遊びに誘うと気持ちを切り替えて玩具を手にしていました。保育者との関わりを繰り返す中で信頼感が増し安心して過ごせる時間が増えています。



食事と睡眠

食事の準備をする10時半頃、Aくんは“早く食べたい〜しかも眠い〜”と訴えるように泣きます。いざ食べ始めると、目を丸くして“おいしい”と言っているような顔をします。口の中が空っぽになると、“う〜う〜”と声を出して、早くちょうだい”と伝えてくれます。

楽しく食べる、安全に食べることをねらいとして食事介助を行っています。「おいしいね」「これは嫌だったの？」「モグモグだよ」と声をかけながら子どもの様子を見ています。

お腹が満たされると眠くなる子、眠いと思うけどなぜか元気に動き回る子とタイプはそれぞれ。一人ひとりの睡眠リズムや入眠しやすい体制を考慮してお昼寝へと促します。食事や睡眠ができるようになってきたことが、子ども達が安心して過ごしている証拠だと感じます。今後も、子ども達との信頼関係を築いていけるよう丁寧な関わりをしていきます。



Ato1

安心感とともに

4月1日、クラス部屋には新しい先生がいたこともあり、いつもと違う雰囲気を感じなかなか部屋の中に入ろうとしない様子も見られました。その中でも、顔見知りの保育者を見つけて傍に行き抱っこしてもらったり、抱きしめてもらったりしながら慣れていきました。

園庭で遊んでいた日のこと。RくんとYくんは上空に飛行機を見つけ、近くにいた保育者に「き！き！」と言って飛行機存在を伝えていました。新しい保育者と好きなものを通して楽しい気持ちも生まれた瞬間でした。

MくんとMさんは、登園してきた友達のことを指さしながら「OO！」と言いながら名前を呼び、おはようというように顔を覗き込んでいます。

生活や遊びの中で様々に関わり合い、安心感を積み重ねながら、新しい環境に少しずつ慣れていっています。



年下の友達

園庭で遊んでいると、0歳児クラスから泣き声が聞こえてきました。そのことに気が付いたRちゃんは、「あっち！」と0歳の部屋を指差しながら泣いていることを教えてくれました。

テラスで遊んでいると、0歳さんがバギーに乗って来ました。じっと見つめるKくんとMくん。

「一緒に乗る？」と聞くと嬉しそうな表情に。0歳さんと一緒にバギーに乗り込みました。

自分よりも小さな友達に興味を感じ、関わり合いながら成長していくのでしょうか。

PICO2

オープンスペース

保育室は、1階ホールの一部も使用したオープンスペース。扉で閉ざすことなく保育者に見守られる中、開放的な空間で自分の興味を見つけ、探究して欲しいと願っています。子ども達は早速、探索。初めは、一か所にみんなが集まり「すわりたい〜!」「つかってた〜!」と。パズルもどれが誰の物だか?壁にも描いてしまい大混乱!そんな子ども達の姿に保育者は試行錯誤。おひとり様用テーブルを置いてみると、順番待ちをする姿。イーゼルに紙を用意し描くスペースを明確にしました。開放的な空間だけに、子ども達の好奇心からホールやエントランス付近まで走り出すこともあり、正直大変なこともあります。それでも担任だけでなく事務所や給食室の先生、用務の方などみんなが子ども達の姿を見守って声を掛けてくれます。子ども達は、沢山の人の守られて自分が大切にされていることを知っていくでしょう。もちろん危険なことがあることや約束も伝えています。さあ、これからオープンな2歳児室から、子ども達と保育者のにぎやかな声が毎日園内に響いていくことでしょう。どんな遊び、探究の扉が開くのか楽しみです。



それでいいよ

緑色の帽子は、子ども達にとって目に見えて自分達がお兄さん、お姉さんになったことを誇れるモノなのでしょう。登園後すぐに被ると靴箱へ!「待って〜」と追いかけて「お外は無理だけど1歳さんのテラスはどう?」と提案し行きました。遊び慣れた場所に安心し穏やかな姿がありました。新入園児のMさんは、リュックを背負っておまごと。一人ひとり安心できるスタイルや場所でゆっくり仲良くなっていきましょう。

自分と遊ぶ

春らしく沢山のカラスノエンドウがあった日。丸太のトンネルにくっつけてその上に絵本『そらまめくんのベット』を置いておくと。

Iさんは、カップとお皿を置いておうちに見立てお行儀良く座ってお食事。

Sさんは、絵本を持ってお気に入りの場所で読み聞かせの先生風。

丸太の中では、新入園児のHくんが、車を走らせトンネルをリアルに感じて。子ども達は、新しい担任や友達と、日々にぎやか過ごす中、安心してしっかりと自分と遊ぶことも始めています。



Nano3



～はじめての幼児クラス～

今年度から2階での生活がスタートした3歳ナノ組さん。子ども達は人懐っこく、担任が出勤すると「先生！おはよう！」「見て見て！〇〇作ったんだよ！」などとあちらこちらから声が飛び交い、ブロックで作った海の世界や、長くつなげた線路などそれぞれの作った物をたくさん見せてくれました。少しずつ2階での生活の流れを知り、お集まりでは体操が好きな様子です。「おいでおいでやって～！」「パブリカ！」と覚えた体操をリクエストする姿が見られています。

新しいお友達もたくさん増えました。今はまだ成長の段階として自分の遊びに夢中な子ども達ですが、その中でも「この子〇〇くんっていうの？」とお友達のことを気に掛ける姿も見られています。



～お兄さんお姉さんとの関わり～

今年度から縦割りグループ活動が始まりました。早速グループでの活動をたくさん取り入れています。初めてグループで公園に行くと、異年齢で遊びを楽しむ姿がたくさん見られました。異年齢混合だと例年慣れるまではクラスごとになりがちなのですが、今年度の幼児メンバーはクラスでまとまるというよりも柔軟に異年齢での関わりを楽しんでいます。特に3歳さんは4歳5歳のお兄さんお姉さん達にたくさん可愛がってもらい、異年齢での関わりをととても喜んでいるように感じます。



Nano4

好きな食べ物は？

4歳ナノ組がスタートして1ヶ月が経ちました。新しい友達が入り、新しい担任になって違った雰囲気の中、最初は少し緊張している様子でしたが、今ではすっかり慣れて、毎日元気に過ごしています。お散歩で公園に行くと、担任と一緒にボール遊びをしたり、縄跳びやかくれんぼや鬼ごっこをしたりして遊んでいます。朝のお集りは、輪になって椅子に座ります。保育者だけでなく、子ども達にも話をしてもらいます。ある日、好きな食べ物を聞くと、最初にAさんが、「好きな食べ物はいちごです。」と答えました。その後、何人かは好きな食べ物を一つだけ答えていました。するとBくんが、「好きな食べ物は、いちごとぶどうとみかんとりんごです。」と答えました。次にCさんは、「いちごとぶどうとみかんとりんごとメロンです。」と答えました。それからまるでゲームのように前に答えた友達の答えの一つ好きな食べ物を増やして答えるようになりました。何人が答えた後Eくんが困惑した顔で、「いちごと、りんごと、えっと、えっと、、、あれ、なんだっけ？」と言った瞬間みんな大笑い！Eくんの後、一つだけ好きな食べ物を答えるようになりました。



異年齢の関わり

グループ活動がすでに始まり、3、4、5歳で3グループに分かれて活動しています。4歳クラスの子供達にとっては、年上と年下の友達に挟まれて大変な面もあります。Fさんは、グループ活動が始まった頃は「4歳だけがいいな。」と呟いていました。でも、5歳さんが、画用紙でバッグを作っているとすぐに仲間に加わり、お姉さん達に手伝ってもらいながら素敵なバッグを作っていました。そして嬉しそうに、「先生見て！これ可愛いでしょ。Mちゃん（5歳）が手伝ってくれたの。」と言いながら作品を見せてくれました。また、音楽遊びの時は、4、5歳で3グループに分かれて活動します。音楽遊びでは、2人組や3人組になるのですが、5歳さんにリードされて、お兄さん、お姉さんと楽しそうに音楽に合わせて手を繋いだり、手を合わせたりしています。4歳だけの活動も大切ですが、異年齢で活動することで、クラスでの活動では得られないことを経験することができます。子ども達が楽しみながらいろいろなことを学び、成長できるように活動していきたいと思います。

Nano5

期待を胸に！！

新入園児を1名迎え、22名で5歳ナノ組の生活がスタートしました！

新しい環境に変わり少しの不安と、たくさんの期待感を持って進級して一ヶ月。5歳の部屋にある新しいボードゲームや友達と一緒に覚えた新しい触れ合い遊びなどで楽しそうに遊んでいる姿をたくさん見せてくれるようになってきました。

「布団を敷くのを誰か手伝ってくれる人いるかな？」と聞くと、「私やるよ！」「僕もやるよ！！」みんな目をキラキラさせながら当番活動をしています。今後の当番活動では、当番の内容やグループを決めて本格的に活動していきます。畑での野菜の栽培は年長クラスが中心となります。卒園児が植えてくれたジャガイモが順調に成長しています。



特に子ども達に人気なのは給食の配膳当番。給食の前の時間になると、エプロン、三角巾、マスクをつけて準備完了。大人と一緒に食器を並べたり、コップにお茶を注いだり。

お当番さんは「同じにしますか？少なくなりますか？」と聞いて食材の量を調節します。Aさんに「すごい少なくてください」と言われてBさんは困り顔。少し考えてから本当にちよびりの野菜をお皿に入れました。友達の気持ちに配慮しようとしたのでしょう。さすがに「少なすぎるよ」と声をかけると、Bさんも苦笑い。Aさんには「もう少し頑張ってみようね。少し増やすよ」と声をかけました。当番活動を重ねていくなかで、相手の気持ちを考えながら、どんな対応が出来るのかを保育者と一緒に考えていきたいと思います。



異年齢活動

異年齢でのグループ活動も始まりました。年下の友達に対して優しく接する姿が見られたり、ゲームや触れ合い遊びなどもルールを覚えるのが難しそうな子には、「こうやってやるんだよ」と優しく教えてあげたりする姿が見られます。

触れ合い遊びをしている時、保育者が「2人組になってねー。ゲーム始めるよ」と伝えたと、サッと2人組になったMさんとYさん。まわりにはチームが作れず困っている3歳さんと4歳さんがいました。その様子をみていたMさんが組んでいたYさんに「ごめんね。あの子と組んでくる！」と言って3歳さんに走り寄り手を取って「こうするんだよ」と触れ合い遊びを始めました。Yさんも他のまだ組めてない4歳さんに「私と組もう！」と笑顔で誘っていました。異年齢の年下の子と関わることが多くなってきたからこそ、優しさや思いやりの心が育まれているのだらうと感じました。





いつでもどこでもアトリエ

新年度のケーキプロジェクトが始動しました。
どんなケーキを作ろうか、メンバーで話し合いますが4月のイメージがまとまりません。
そこで、担当の愛加先生が「4月を探しに行ってみますか」と提案。

みんなで城山公園へ行ってみました。ジャングルジムの上から満開の桜を間近に見ながらスケッチしたり、デジカメを片手に気になるものを



撮影したり、花びらを拾い集めたり。それぞれが公園にあふれる4月を存分に味わいました。

園に帰ると、撮影した画像を見て確認。描いたり集めたりしたものも広げて、改めて4月のイメージを話し合いました。実際に見て触れたことで、5人の想いが近づいたようです。

職員の園内研修でアトリエリスタ、エレオノーラさんのワークショップが定期的に行われています。そこで学んだ「アトリエはいつでもどこでもできる」ことを愛加先生は実行し、子ども達が自ら発見する世界に寄り添いながら、先生自身も楽しんでいるかのようでした。

プロジェクトでは、ケーキとともに、どんなドラマが生まれるのでしょうか？

月ごとに変わるケーキと子ども達の姿を追ったドキュメンテーションにもご期待ください。



ほけんだより

入園・進級と環境が変わり、お子さんの様子はいかがでしょうか。嬉しさや不安、ドキドキ、ワクワクなど様々な感情が入り混じていたのではないのでしょうか。そんな時、自分の気持ちを素直に伝えられる子もいれば、なかなか言い出せずに抱えてしまう子もいます。

5歳クラスで「カラーモンスター きもちはなにいろ」という絵本の読み聞かせをしました。この本の中では、黄色は「嬉しい」青色は暗い気分の「悲しい」赤色は燃える炎のような「怒り」黒色は「怖い」緑色は「穏やか」と表現されています。



本を読み終えた後にこのピンクはどんな気持ちかな？と子ども達に尋ねてみました。

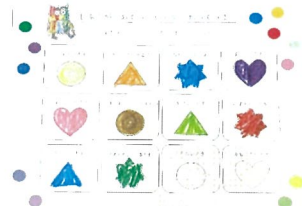
「大好き」「楽しい」「幸せな気持ち」「うれしい気持ち」など、答えは様々でした。子ども達には「気持ちはみんな違っていいんだよ。お友達はどんな気持ちなのかな？」と考えてみて」と、伝えました。

子ども達は自分の気持ちを整理することが出来ません。この絵本の中では女の子がピンに色分けをしてカラーモンスターの気持ちの整理を手伝っています。

今回は「こんな時はどんな色？」と様々な気持ちに自分が思う色を塗って、どうしてその色を選んだのか尋ねてみました。

うれしい時は、「幸せな気持ちになるから黄色」と、黄色に塗る子が多くみられたことに驚きました。他に「虹色になるの」と多色を塗る子がいました。ほっとした時は、「お友達と仲直りをした時」とピンクに塗る子がいれば「ほっとした時ってどんな気持ちなの？」と質問して来る子もいました。まだまだ知らない気持ちもあれば、言葉で表現できない気持ちが沢山あります。

色々な事を沢山経験して感情豊かな子どもになってほしいと思います。ご家庭でも「今の気持ちは何色？」と尋ねてみてください。お子さんが自分の気持ちの整理が出来たり、知る手掛かりになるかもしれません。



発育測定の日が変更になっています。

発育測定 5月 8日(木)

0歳児健診 5月 7日(水)

5月21日(水)

保健指導予定 規則正しい生活について



食育だより

We want to cook delicious food



入園・進級して1か月がたちました。少しずつ新しい環境に慣れてくるころですが、疲れが出てくる時季でもあります。特にGW明けは気持ちも不安定になります。体も心も元気いっぱい過ごせるよう、給食室から栄養満点の食事をお届けします。

そら豆のさやむき

給食に出るそら豆のさやむきを3歳さんと4歳さんの精鋭部隊がしてくれました。さやを開くと、ふかふかのベッドの上にそら豆さんがこんには！大きいそら豆の中に小さいそら豆を見つけると、「これは赤ちゃんだね」と考察していました。黙々と真剣に取り組むと、あっという間に終わってしまいました。そら豆は春が旬です。苦手な子どもたちも多いですが、自分たちでむいたそら豆は味が違うのか、ひと口でも挑戦しようとする姿がみられました。



キャベツちぎり

アルテに大きなキャベツが届いたので、2歳さんにむいて、ちぎってもらいました。一枚一枚まるで大きなかぶを抜くように力いっぱいむいていき大きなはっぱのようなキャベツにびっくり!! むいたキャベツを真剣にちぎって、「みてー」と満足そうにみせてくれました。

キャベツは翌日の給食で味見。「あまーい」との声。春キャベツは甘くておいしかったようです。ご家庭でもぜひ春キャベツを召し上がってみてください。

アルテの畑

3月に植えたじゃがいもの芽かき(間引き)を行いました。大きく育ってくれるのが楽しみです。



こどもの日

本来は端午の節句といわれ、邪気ばらいをして家の繁栄を願う行事でしたが、男の子の成長を願う行事となり、今では「こどもの日」として子どもの成長を願う日になりました。

～「子どもに伝える 行事の由来と行事食」より～
アルテでは昼食にお子様ランチ風メニューとおやつにはこいのぼりを模ったスイートポテトで子どもたちの成長をお祝いします！

5月の行事食

5/2(木) こどもの日

〔給食〕 お子様ランチ風メニュー
ケチャップライス、ふんわりハンバーグ、
ポテトサラダ、コンソメスープ、オレンジ
〔おやつ〕

こいのぼりスイートポテト

5/8、22(水) カミカミおやつ

〔給食〕
ご飯、鮭のみそマヨ焼き、五目きんぴら、
若竹汁、バナナ
〔おやつ〕

ココアお麴ラスク、小魚

5/23(金) 春のピクニック

〔昼食〕 お弁当風メニュー(乳児のみ)
おにぎり(鮭・菜飯)、鶏肉のから揚げ、
マカロニサラダ、花野菜のおかか和え、オレンジ

5/27(火) お誕生日会

〔昼食〕
ロールパン、チキンカツレツ風、
キャベツとツナのサラダ、ミネストローネスープ、
オレンジ
〔おやつ〕
お誕生日ケーキ(ココア・バナナ)

5月の旬の食材

アスパラガス、かぶ、かぼちゃ、キャベツ、ごぼう、さやえんどう(きぬさや)、じゃがいも、セロリ、
そら豆、たけのこ、チンゲン菜、たまねぎ、にんじん、みつば、レタス、アジ、カツオ、カレイ、
しらす、いちご

